



GLOBAL MAPPING NEWSLETTER 48

2007年PAIGH会合における地球地図

エドウィン・ハント
米州地球地図プロジェクト・コーディネーター
チリ軍測量局



MGA3におけるMGA委員会
ブラジル・イトゥ市、2007年6月

本年、地球地図は汎米地理歴史協会（PAIGH）の二度の主要な会合で取り上げられました。米州地域地球地図プロジェクト（スペイン語でMGA）はPAIGHとISCGM間で協力体制をとっています。

2007年6月27日～29日に、PAIGHの四部会は、ブラジル・イトゥ市において、技術調整会合を開催しました。MGAが所属する地図部会において、MGAの進捗状況が発表されました。MGA実行委員会は、PAIGH部会会合にあわせて、6月30日に2005年の設立以来3度目となる年次会合を開催しました。

その後、PAIGHはGSDI協会やコロンビアの主要地図作成機関である「アグスティン・コダシ地理研究所（IGAC）」と共同で、2007年11月6日～7日にコロンビア・ボゴタ市において、米州地域空間データ基盤をテーマとし、発表を主体とするシンポジウムを開催しました。MGAコーディネーターである筆者はMGAについて発表するようにと、このシンポジウムに招かれ、ISCGMにより運営される地球地図プロジェクトの概要を紹介、続いてMGAの主要な提案について説明

し、本シンポジウムに出席した機関に対して、これらの取り組みに参加するよう働きかけました。

SDIシンポジウムは、PAIGH評議会会合にあわせて11月8日～9日に開催されました。この場で、PAIGHは、（MGAはPAIGH技術協力プロジェクトとして年ごとの更新が必要とされるため、）2008年のMGAプロジェクトの継続の承認について発表しました。

地球地図と直接的または間接的に関係のある西半球全体の地図作成機関やその他の機関から、かなりの人数の要人や意思決定者が、PAIGH部会会合、SDIシンポジウムやPAIGH評議会会合に参加しました。このことによりMGAへの支援を取りつけるために、これらの行事全体をとおして多くの有用なやりとりがなされました。

MGA3会合で練り上げ、PAIGHおよびIGACの行事で取り上げられた主なMGAプログラムは以下のとおりです。

(1) 米州地域におけるデータ入手可能性および小縮尺地図作成の必要性に関する調査。本調査は、GSDI協会から若干の財政支援を受け、現在準備をしていますが、まもなく公開されます。

(2) ベクター・レイヤについて主に既存の地球地図第1版データを用いた米州地域の継ぎ目のない地図。大陸ベクター地図作成の作業計画や技術手法は現在作成中です。

MGAはコロンビアのIGACによるIDEシンポジウムへの招待に感謝します。

新しい地球に向かっての歩み

ローザ・カルモカ

シリア・リモートセンシング統括局 GIS 部データ処理室地図作成係係長



2007 年 JICA 地球地図コース研修員

歴史上、自然はいつでも私たちの優しい母であり、私たちが必要とするすべての物を与えてくれました。

そして、私たちは駄々っ子で、私たちの母の資源を使い果たしたため、母は、病気になったと警鐘を鳴らしはじめています。-その症状は地球環境の変化としてあらわれています。-そして私たちが生き延びようと欲するならば、役割を交代する時期がきています。今、私たちはこの大きな青い子供を気づかい地球の母となることが求められています。

この作業において最も重要なことは、地図によってのみ知ることができる、「いつ」、「どこで」、「何が」をモニタリングすることです。

このことが、増大する環境問題の解決に役立ち、私たちの資源を持続可能な形で利用するために、地球に対して包括的な見方を与える重要で正確、かつ最新の情報を研究者に提供することができる地球地図の作成に取り組むための礎石であったわけです。

1992 年の「地球サミット」で採択された「地球環境に取り組む行動計画を呼びかけるアジェンダ 21」に忠実に、日本の国土交通省は、地図作成分野からの地球環境保全への貢献として「地球地図プロジェクト」を提案しました。国土地

理院はプロジェクトの事務局を引き受けるとともに、特に開発途上国の技術向上の必要性を認め、JICA との協力により、リモートセンシングと地理情報システム技術を向上させるため、研修コースを設けました。

2007 年の地球地図コースは、2007 年 8 月 14 日～11 月 3 日まで行われましたが、私は、このコースにアフガニスタン、ホンジュラス、インドネシア、モーリシャス、モザンビーク、セントルシア、セントビンセント、シリアとイエメンから参加した 9 名の研修員のなかの一人でした。

私や私の研修仲間は、この研修によりリモートセンシングや地理情報システムの最近の進歩や関連する環境問題について見識を深めるという大きなチャンスを与えられました。講義、実習や活動に加えて、宇宙航空開発機構、産業技術総合研究所、東京カートグラフィック株式会社、気象庁、千葉大学、奈良大学、広島工業大学や筑波大学など、最も進歩した機関への視察も盛り込まれていました。

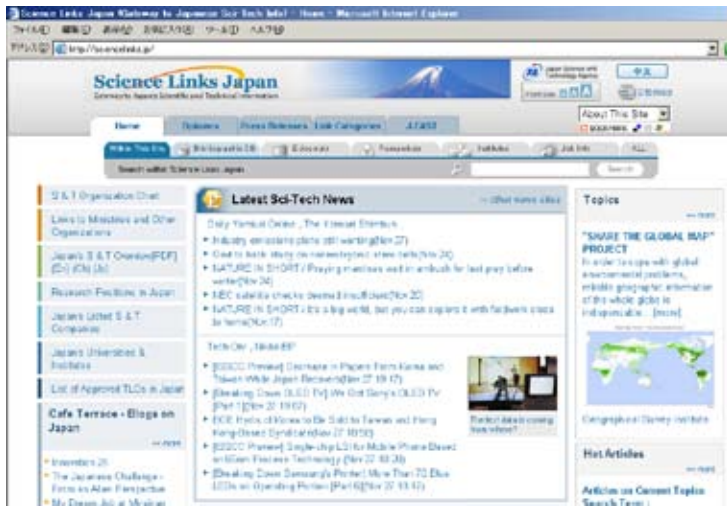
本コースをとおして、私たちは自国の地球地図について貢献できました。また、京都、大阪、広島方面への研修視察では、技術や科学だけでなく、国際協力機構や国土地理院の配慮により文化的、観光的な要素も楽しむことができました。

私たちは、大きく美しい神社を訪れ、かわいい日本の子供たちと仲良しになるきっかけを得て、日本の穏やかな自然や気質を経験できました。このような好機に恵まれたことを幸運に思います。

日本の独特な習慣を楽しみながら本物の極東に接したことは、まさしく大きな感動でした。日本と日本の皆様に、心から感謝します。

国土地理院による地球地図 / 樹木被覆率図（試作版）の展示

国土地理院は地球地図国際運営委員会の事務局を務めています。2007年11月20日から、同委員会が整備中の植生データ（樹木被覆率データ - 試作版 -）の出力図を展示しています。この地図は5m * 10mの大きさで、国土地理院「地図と測量の科学館」ロビーの床に展示され、来館者の興味を誘っています。



Science Links Japan



国土地理院職員による床張り風景



地図と測量の科学館に展示された地図

事務局から

地球地図公開と地球地図プロジェクトへの参加

2007年9月25日に前回のニューズレターが発行されてから、3カ国の地球地図が公開されました。それらの国名とデータ公開日は、インドネシア（9月27日）、ニジェール（11月21日）及びウルグアイ（12月3日）です。現在、44カ国 / 2地域のデータがISCGMホームページからダウンロードできます。新たに2カ国がプロジェクトに参加しました。それらの国名と参加日は:リビア（10月11日）及びトンガ（10月26日）です。現在、159カ国 / 16地域が地球地図プロジェクトに参加しています。

地球地図フォーラム 2008

国土地理院と ISCGM は、地球地図フォーラム 2008 を以下のとおり開催します。

| | |
|---------|--|
| 開催日 | 2008 年 6 月 5 日（木）～7 日（土） |
| 会場 | 国際連合大学（東京都渋谷区） |
| 予定プログラム | 5 日 登録、開会式及び講演等 6 日 研究発表及び閉会式 7 日 エクスカーション |
| 参加費 | 無料（事前登録制） |

2008 年 1 月末まで「地球地図データ等を活用した地球環境または関連分野に関する調査・研究（各種活動報告を含む）」に関する論文を募集しております。また、フォーラム開催中にポスターセッションを予定しておりますので、4 月末まで前記調査研究に関するポスターも併せて募集しております。

詳細は、ISCGM サイト（www.iscgm.org）を参照いただくか、事務局（sec@iscgm.org）にご照会下さい。

現在、地球地図フォーラム 2008 に関する専用サイトを準備しております。こちらより、参加登録をお願いします。（インターネット環境に不都合がある場合には、同封の参加申込書を FAX 等で事務局に送付をお願いします。）

事務局では、地球地図フォーラム 2008 に関するその他の質問などもお待ちしておりますので、お問い合わせ下さい。

地球地図及び関連の会議

以下は地球地図及び関連の会合の予定です。関連の会合についての情報を歓迎します。

2008 年

- ・ 2 月 25 日～29 日、トリニダード、セントオーガスティン
GSDI10: 第 10 回全地球空間データ基盤会議
- ・ 2 月 29 日、トリニダード、セントオーガスティン
地球地図の進捗に関する会議
- ・ 3 月、オーストラリア、キャンベラ
PCGIAP 理事会
- ・ 5 月 29 日～30 日、デンマーク、コペンハーゲン
第 26 回 ISO/TC 211 本会議
- ・ 6 月 5 日～7 日、東京
地球地図フォーラム 2008
- ・ 6 月、東京（予定）
ISCGM 会合

- ・ 6 月 14 日～19 日、スウェーデン、ストックホルム
第 31 回 FIG 総会及びワーキング・ウィーク
- ・ 7 月 3 日～11 日、中国、北京
第 21 回 ISPRS 会議
- ・ 8 月 19 日～22 日、マレーシア、クアラルンプール
第 14 回 PCGIAP 会合及び国際土地管理及び空間情報活用による政府に関するシンポジウム

2009 年

- ・ 6 月 15 日～19 日、オランダ、ロッテルダム
GSDI1: 第 11 回全地球空間データ基盤会議

編集・発行：地球地図国際運営委員会事務局

連絡先：〒305 - 0811 茨城県つくば市北郷1番 国土地理院内

Tel: 029 - 864 - 6910 Fax: 029 - 864 - 6923

ホームページ: <http://www.iscgm.org/>

E-mail: sec@iscgm.org